

事務事業名	スクールバス運行事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課	
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさを愛し豊かな心を育む教育と文化のまちづくり《教育・文化》	所属G	施設維持G	課長名	小山 伸
	施策名	〈23〉学校教育の充実	担当者名	山崎 修	電話番号	0854-40-1071
	目的	対 児童・生徒(小学校・中学校の児童・生徒)	意図	生きる力を身につける。	(内線)	3649
	基本事業名	〈069〉教育施設・設備の充実	予算科目	会計 款 大事業 大事業名	スクールバス管理事業	
目的	対 児童・生徒	意図	充実した教育施設・設備を利用できるようにする。	項 目 中事業 中事業名	スクールバス管理事業	

1 現状把握〔DO〕

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 遠距離通学者がスクールバス等により安全に通学できるようスクールバスの運行、管理を行う事業。主な業務内容は次のとおり ①通学乗車券利用申請書の受付、許可・不許可の判定、通学乗車券の発行。 ②スクールバス運行業務については業者へ委託。 ③各学校等からの臨時便の申請受付、業者依頼(社会見学・総合的な学習の時間・大会等) ④バス車両管理

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) 乗車対象者の調査。許可した児童、生徒へ通学乗車券の配付。スクールバス運行委託業者との契約。各学校等からの臨時便の申請受付。業者依頼。運行委託料の支払い。	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 24年度と同じ。 大東中(塩田)の第2・4土曜部活動、民谷分校閉校、中野小学校閉校及び阿用幼稚園に伴う通学(園)用の輸送車の運行委託			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
ア	スクールバス等設置台数	台	7	10	11	13
イ	通常1日あたりの運行便数	便	21	26	30	32
ウ	スクールバス等運行委託件数	件	3	6	9	11
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
	・遠距離通学の市内小中学校の児童生徒、幼稚園児 ・スクールバス運行対象地区の児童生徒	ア	スクールバス等利用者数	人	145	137	227	200
		イ	市民バス利用者数	人	368	346	431	400
		ウ						
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
	・遠距離を安全に登下校できる。 ・校外での教育活動が出来る。	ア	事故件数	件	1	2	0	0
		イ	スクールバスの校外教育活動申請件数	件	208	227	230	230
		ウ	市民バスの校外教育活動申請件数	件	455	493	500	500

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
運行管理委託料 24,839千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
車輛管理料 1,417千円		県支出金	千円			
修繕費・燃料費 2,332千円		地方債	千円			
車輛借上げ料 1,885千円		その他	千円			
		一般財源	千円	25,332	29,308	30,473
	事業費計(A)	千円	25,332	29,308	30,473	29,249
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2
		延べ業務時間	時間	1,500	1,500	1,600
		人件費計(B)	千円	5,832	5,913	6,269
	トータルコスト(A)+(B)	千円	31,164	35,221	36,742	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
少子化により、対象者は減少傾向にある。根拠法令は以前と比較して変更ない。学校の統合が進み、遠距離通学地域は増えてきている。	利用人数の減少等によりスクールバス専用から市民バス利用に変更を行った。また、新たな統合によりスクールバスの増車を図った。市民バス再編計画に合わせスクールバスの在り方についても検討中である。	スクールバスの運行は児童生徒の登下校の便を図るためのものであるが、学校行事等(社会科見学、総合的な学習の時間、各種研修会、大会等)にも利用している。部活動の練習等にも、もっと使用できるようにという要望もある。

事務事業名	スクールバス運行事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由 通学用スクールバス利用者の許可要件が、公平性の点で今後調整、改善の必要がある。
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由 運行体制の見直しにより、臨時便での利用を増やすことなど、校外活動の充実を図る事が出来る。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
<input type="checkbox"/> 影響無	理由 廃止、休止した場合には、遠距離通学者等の通学手段が確保できなくなる。保護者への負担増につながる。		
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名) 市民バス運行事業	
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	理由 登下校、臨時便の運行については、公共交通の再編計画に合わせ検討が必要である。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 便数等、今後増える要素はあっても減る要素はないため、削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 臨時便に関しては、件数も多く、調整・手配等の作業量に時間を要する。	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 通学用スクールバス利用者の許可要件が、公平性の点で今後調整、改善の必要がある。	
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 登下校のためのスクールバス運行に関しては、学校及び運行業者と連携を図り、良好な運行ができた。
	A 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
D 公平性	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上		●	維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上		●																
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>・遠距離通学者等通学用バス利用の許可要件を整備する必要がある。基本基準は、小学校は4km、中学校は6kmだが、地域要件もあるので、市民が納得できる方法で何らかの措置が必要と思われる。</p> <p>・今後、学校の統合により通学バス利用地区が増える。該当児童生徒の通学の利便性を確保するため、スクールバスの配置が必要になる。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		